

ハッピー メール

HAPEE MAIL

Hiroshima international Access and Promotion center for Economic Exchange

〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47

TEL : 082-248-1400 FAX : 082-242-8628

E-mail : hapee@hiwave.or.jp

ホームページ: <http://www.hiwave.or.jp/HAPEE/>

本誌掲載記事・写真の無断転載を禁止します。

ハッピーメールは、回覧して皆様でお読みください。

CONTENTS

| | | |
|---|------------------------------------|----|
| 広島経済同友会 代表幹事 高木一之 氏 「国際交流・広島経済同友会の活動から」…………… 1 | ジャカ「低賃金労働時代の終わり」…………… 6 | 6 |
| 海外レポート | 重慶「重慶市の経済」…………… 6 | 6 |
| モスク「年末のロシアにはいつも色々な動きがあります」… 2 | バンコク「国王 85 歳のお誕生日」…………… 7 | 7 |
| ニューヨーク「米国での日本企業、苦境からの奪回」……… 2 | 大連「大連—ハルビン新幹線開通」…………… 8 | 8 |
| 上海「尖閣諸島問題による影響からの回復」…………… 3 | NY「2012 年バトム投資環境」…………… 8 | 8 |
| ニューデリー「日印国交樹立 60 周年」…………… 3 | 台北「台湾人の習慣」…………… 9 | 9 |
| シガポール「フィリピン投資」…………… 4 | ハッピーからのお知らせ…………… 10 | 10 |
| ホーチミン「バトムにおけるファーストフード産業の発展」……… 5 | 中国ビズ 祝 Q&A「中国で飲食店出店 vol.2」…………… 11 | 11 |
| | 国際ビズ 祝支援センター事業についてのアンケート結果… 12 | 12 |

国際交流・広島経済同友会の活動から

広島経済同友会

代表幹事 高木 一之 氏



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広島経済同友会には、さまざまなテーマについて調査・研究・討議を行なう9つの委員会があり、その一つである「国際委員会」の事業として、海外経済視察団を派遣しています。今年度は、アメリカ西海岸を訪問し、TPP（環太平洋経済連携協定）で注目の集まるアメリカのコメ産業を中心に視察してまいりました。

今回の視察では、広大な土地と最新技術を活用した「産業としての農業」を目の当たりにして、その規模の大きさと農業に対する考え方が日本とは全く異なるものであることを実感すると同時に、農業は、土地や水、天候など、その国や地域の自然環境の上に成り立っており、単純に比較するのは難しいと感じました。本会では、こうした海外視察の経験も参考にしながら、県内農業の現状を踏まえ、「第一次産業を考える委員会」において、農業を持続可能な産

業としていくための具体策を模索しているところであります。

また、国際交流でいえば、本会は財団法人ひろしま国際センターと連携し、県内の企業・団体のご協力のもと、外国人留学生を支援するため、留学生活用セミナーや留学生合同企業説明会の開催、インターンシップ事業などに取り組んでいます。

広島県では留学生の受入れ・県内就職者を平成26年に倍増（平成21年比）する計画がありますが、アジアなど各国からの留学生をサポートし、その優秀な人材が県内企業へ就職できるよう支援することは、地域の活性化にも寄与する大切な課題であると考えています。

本会としましては、今後とも国際交流や留学生支援、インターンシップなど、各種事業に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き、皆さま方のご支援をよろしくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます



年末のロシアには いつも色々な動きがあります

先月は初冬のロシアはさほど厳しくない寒さであるとお伝えしましたが、この一週間であっという間にマイナス10度、マイナス15度と温度が下がり、来週はマイナス25度となるかもしれないという予想です。道路も凍っているところも多く、事故も増えており、年末の渋滞がさらに厳しいものとなっています。

既にお伝えしましたように、スピード違反の取り締まりが監視カメラをベースに行われて1年が経過し、筆者も書留で違反請求を受けることもありますが、今般とうとう駐車違反に対する請求書が写真と共に書留で送りつけられて来ました。かなりの金額に唖然としていますが、監視カメラベースの取り締まりはとどまるところを知りません。この時期道路の雪かきもあり、駐車できるところが少ないのですが、モスクワで果たして、まともに駐車できるところがあるのか理解に苦しみます。

この寒さのなか、先週土曜日には、プーチン政権に反対する若者の集会、デモがモスクワ中心部であり、無許可であったことから、大勢の若者が逮捕されたようです。年末のモスクワはいろいろなことがあり、これが師走の風物詩なのでしょうか？

このような中、12月12日、日産ルノーがロシア最大の自動車会社アフトバスの経営権を取得したとの発表がありました。株式の過半数の取得は完了していたとのことですが、製造、販売権の大半を日

米国での日本企業、苦境からの奪回

米国でビジネス情報を届ける「企業概況」という月刊誌があります。過去12年にわたり在米日本企業の動向を調査してきた同誌によると、「日本のバブル崩壊からリーマンショックなど経済危機を乗り越えながらも、確実に米国で根を張り行く日本企業」が増え、「特に自動車産業界では、地元への貢献を始め、企業市民としての地位を確固たるものとしている」企業が増加しているといえます。

在米日系企業は、2000年過ぎからは世界の工場としての中国に注目が集まり、本社もアジア優先、アメリカのことを後回しにしていた時期が長く続き

モスクワ ビジネスサポーター 岩本 茂

産ルノーが握ったこととなり、市場占有率を30%から40%に引き上げようと、新型車の開発、製造に拍車がかかると考えられます。最近では、アフトバス向け部品製造を目指す設備投資商談も活発となっているようで、当社関係でも、自動車関連部品の設備商談は増加しつつあります。

先月はアフトバス社本社のある、トリアッチ市での「トリアッチー未来の町」と題するセミナーの開催についてご紹介いたしましたが、地元のトリアッチ市としても、部品製造に対するインフラ整備を積極的にバックアップしていく方針であるようです。

また、先般当地の日本大使館より、ロシア在住の邦人数の発表がありました。昨年は2,326名、本年は2,450名と滞在邦人数は100名程のわずかな増加となっていますが、このうちトリアッチ市在住の邦人は昨年12名であったのが、今年は54名となんと40名以上の増加となっています。モスクワ在住の邦人数は昨年1,653名、本年は1,667名とわずか10名程度の増加にとどまっていることを見ても、特筆すべきであると思われます。

サンクトペテルブルグの治安の悪さは既に何度もお伝えしておりますが、トリアッチも治安は決して良いわけではありません。広大なロシアにおける地方の交通インフラは依然として厳しいものがありますが、地方に展開するものづくり現場への日本企業の進出は着実に進んでいるようです。

ニューヨーク ビジネスサポーター 今泉 江利子

ましたが、そのような辛い状況の中でも、どう事業を立て直すかを社内で真剣に議論する建設的な企業が出てきました。同誌によると、カリフォルニア州に拠点を置くJAEエレクトロニクス社高橋社長は、「現地法人での役割が変化し、アメリカだけではなく世界どこでもJAEの製品を使ってもらえるようなグローバルな視点での営業が必要となっている」と変化するアメリカでの営業活動の重要性を語っています。

また、「使ってみてわかる日本式サービスのよさも浸透してきている」といわれます。実際に私のお客様

なども、米国、ブラジル、メキシコなどで数ヶ月のお試し期間のきめ細かいサービスに感激してその企業への発注を決めるところが多くなっている、といわれています。アメリカのディーラーはたいがい売りっぱなしですので、顧客もそれが当然と思っているところに、日本企業が一貫したサービスを徹底させることでサービスが評価され、信頼へと結実し、受注

尖閣諸島問題による影響からの回復

2012年の9月に大規模な反日デモが発生して以降、中国から発信されるニュースには、暗いものばかりが先行していました。しかし、そんな暗いニュースの中にも最近では明るい陽射しが差し込んできました。そこで、今回は、続々と届く明るいニュースをいくつかご紹介したいと思います。



まずは、11月16日にリニューアルオープンした上海伊勢丹地下1階食品売り場です。ここには、もともと香港系のスーパーが入っ

ており、輸入食品を中心に販売されていました。それが、約8ヶ月間の調整期間を経て、日本食品の売り場へと生まれ変わったのです。『伊勢丹饗餐倶楽部（タオティエクラブ）』と名づけられた地下フロアには、GL Japan（本社が広島県尾道市の㈱グローバルジャパンの現地法人）と伊勢丹のコラボによるグロッサリーショップや、中国で25店舗を展開する「さいとうフルーツ」、有機野菜の通信販売で人気の「果菜村」、長崎鮮魚による魚・寿司の「OCEAN FAMILY」などが店舗を展開しています。また、フ

日印国交樹立60周年

12月に入りデリーは一段と涼しくなり日本人にとっては非常に過ごし易くなっております。昼間は薄手の長袖で十分過ごせる位の気候で観光や外でのスポーツには最適の時期かと思えます。しかし、夜は冷え込み厚手のパジャマと布団が必要となります。最近日本から出張でこられた方は、出張前にインド

へとつながっていったそうです。米国での日本企業の業績奪回は、日本的な「地道なサービスが最も重要」としながらも、現在は世界中どこで買ってもアフターサービスできる体制を大原則にしなければならぬ、と日本企業の米国での成長の柱はグローバルサービスへ向かっていっているということです。

広島上海事務所長 西尾 麻里

ードコートも充実しており、「がってん寿司」や「はなまるうどん」、「道頓堀くくる」など、中国でチェーン展開している人気店が軒を連ね、連日大勢の人で賑わっています。

次に、12月6日に花園飯店で執り行われた「天皇誕生日祝賀レセプション」をご紹介します。これは、毎年12月に中国各地の日本総領事館主催で開催され、中国の政府要人や在留邦人、各国外交団などが招待されます。上海では、“日本ブランドの向上、日本企業の販売及び訪日観光の促進”を目的とした「日本観光・食品PR展」が同時開催され、各自治体や食品メーカーのブースが大勢の来場者で賑わっていました。かくいう筆者も広島県ブースにて、ひろしま菓子博2013を中心にPRいたしました。上海で働く県出身者や、広島へ留学・旅行経験のある中国の方、中国人向けに日本観光雑誌を発行している出版社の方、日本語を専攻している学生など、さまざまな来場者と話す機会を持つことができました。

他にも「日本」という看板が制限される中、各種展示会へ出展し、中国バイヤーと商談を活発に行う日系企業が多く存在しています。また、自動車業界からも「買い控えていた消費者が購入し始めた」との声が伝わってきています。さらに日本政府観光局（JNTO）がビジットジャパン（VJ）事業のイメージ広告を中国の主要紙に掲載するなど、多方面で反日デモの影響から回復の兆しが見えつつあります。

ニューデリー ビジネスサポーター 大川 広

＝暑い国と連想され夏服を準備され、実際にこちらに来てみると寒くて驚かれる方がいらっしゃいます。そのような方にはデリーにも冬の涼しい期間があり、夏と冬の温度差が大きいという点で日本の熊谷に似ているかもしれないとお伝えしております。

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、

今年の日印国交樹立 60 周年の年でした。サンフランシスコ講和条約が締結された翌年の 1952 年 6 月に日印の平和条約が締結されました。日本では 60 周年記念行事としてインドの文化を日本に紹介するインド古典舞踊会やハリウッド公演などが開催されたかと思いますが、こちらデリーでは反対に日本の文化をインドに紹介する日本武道の実演会、能鑑賞会などが 60 周年記念行事として開催されました。3 月には日印協会の会長である森元首相がデリー商工会の月例会に招かれ記念講演をされました。そこでは、会長就任の経緯、訪印時の思い出、政界の裏話などユーモア溢れるお話を聞くことができました。そして 60 周年記念行事のクロージング行事として 12 月 1 日にデリーのインド門にて記念花火大会が開催される予定でした。しかし、Inder Kumar Gujarat 元インド首相がその前日に逝去され、インドが 7 日間喪に服することになったため中止となりました。私も久しぶりに日本の花火が見れると期待していたので残念な中止となりました。

インドと日本は国交樹立以来インド国内の親日感情に支えられながら友好関係を維持してきました。近年日本とインドは急速に関係を深めています。2006 年には日印間で経済、政治、安全保障など幅広い分野でのパートナーシップを強化する「戦略的

フィリピン投資

海外投資の中国一極集中に警鐘を鳴らす「チャイナプラス 1」という言葉がメディアで目に付くようになったのは 10 年くらい前。ちょうど新型肺炎 SARS がアジアで猛威を奮い、中国の対応にも問題があるのでは、と認識された頃でした。その頃は、チャイナプラス 1 の筆頭はベトナム。もちろん、今でもベトナムの投資先としての人気は高いのですが、最近、注目を集めてきているのがフィリピンです。英語が通じるお国柄から、ソフトウェア開発やビジネスプロセスアウトソーシングなどでは優位性があ

<「陸の孤島」と言われたカビテ工業団地に 17 年前に進出>

その会社は、福山市に本社をおく株式会社キャストムです。同社のビジネスは鋳物。ロストワックスという、ろうで製作した型にコーティングを施し、その後、ろうを溶かす製法で鋳物を製造。1995 年に同社初の海外子会社をフィリピンに設立し、カビテ工業団地でロストワックス製法の鋳物生産を開始しました。当初は一般道しかなく、渋滞もひどくて

グローバル・パートナーシップ」を確立しました。経済面では日本からのインド直接投資は 2011 年度にはモーリシャス、シンガポール、英国に次いで第 4 位の 2,972 百万米ドル（約 23 百億円）に上り、前年比で約 2 倍、6 年前の 2005 年度と比べますと約 11 倍にもなっております。また、要人の往来も活発になっております。日印間では毎年首脳会談が開催されております。今年カンボジアで開催されました。そして、「戦略的グローバル・パートナーシップ」の精神に基づいて首相は毎年交互に相手国を訪問することが約束されており、昨年末には日本の野田首相がニューデリーを訪問されました。（今年 11 月 15 日にシン首相が日本を訪問する予定でしたが、11 月 16 日に日本の衆議院が解散する日本側の事情を踏まえて訪日が延期されました。）

このようにインドと日本は経済、文化などを通じて幅広く関係を深めておりますが、日本から出張でこられた方や自分が日本に出張してインドのことを話しておりますと日本でのインドに関する情報はまだまだ不足しているのではないかと感じております。日本の皆さんに少しでもインドの現状をご紹介できるようにこれからも情報発信していきたいと考えております。

シンガポール ビジネスサポーター 碓 知子

るといわれながら、日本からの製造業投資では素通りされてきた感のあるフィリピンですが、ここに来て、キャノン、村田製作所、バンダイなどが次々と生産拠点を設立を発表。中国の人件費高騰を背景に中国から生産を移管した企業もあります。「VIP^{*1}」という呼称で成長市場として注目を集めている国の 1 つにも挙がっています。そんなフィリピンで 17 年前から生産に取り組んでいる広島県企業を訪問する機会がありましたので、ご紹介します。

3 時間くらいかかる「陸の孤島」だったカビテ工業団地も、今ではマニラからの高速道路が開通し、渋滞がなければ 1 時間半の距離。海外進出の背景は日本でのバブル崩壊。東南アジア数カ国を回り、英語も通じ、協力を得られる日系企業もあったフィリピンを選んだと言います。



<技術者の器用さで勝るフィリピンで第2工場設立>

その後 2002 年にタイで微細成型加工技術の金属粉末射出成形法（メタルインジェクション法＝MIM）による部品生産工場を、2004 年にはフィリピンと同じロストワックス製法による鋳物生産工場を立ち上げた後、昨年 6 月にカビテ工業団地で金属粉末射出成形法（メタルインジェクション法＝MIM）による部品生産を開始しました。こうした工場はフィリピン初。部品金型も含めた一貫生産体制を構築しています。MIM による部品生産はフィリピン国内で初めてです。そのため、政府からはパイオニア企業認定を受け、4 年間にわたる法人^{※2} 所得税の免除措置（ITH）などのインセンティブを受けて

※1:ベトナム、インドネシア、フィリピンを指す。

※2:フィリピン PEZA(経済区庁)のインセンティブでは、所得税免税期間（ITH）は、4 年間で、最長 8 年間。同社が取得しているのは現在 4 年間ので、今後延長申請の予定。

います。同社によるとフィリピンのメリットは労働力が豊富で人件費が近隣諸国よりも低く、技術者が器用なこと。将来的には、同社の MIM 製品の約 3 割をフィリピンで生産する計画だそうです。

高い電力料金、改善されたとはいえまだ改善の余地がある道路インフラ、裾野産業が未発達で原材料も現地では調達できない、など課題もたくさんありますが、日本から 3 時間、英語も通じるフィリピン。その上、「毎年 100 万人が労働市場に参入」していて、人手不足の心配は当たらないと言われています。海外展開の 1 つの選択肢とはなりそうです。

ベトナムにおけるファーストフード産業の発展

ファーストフードビジネスは、1990 年代にベトナムに入ってきました。経済低迷の中にあっても平均成長率は年間 26%で、ベトナム食品産業の中でも安定した高い成長率を誇っています。ファーストフード産業の強みは、品質の高さと衛生面での安全性です。

KFC、ロッテリア、ジョリビー（フィリピン）、ピザハットなど世界のファーストフードメジャーブランドのほとんどがベトナムに進出しています。最近では、アメリカトップのバーガーキングもベトナムに進出し、今年のうちには 12 店舗の展開に成功しました。店舗内訳は、ホーチミンは 5 店舗、ハノイ 3 店舗、ダナン 1 店舗と各空港に 3 店舗です。

ロッテリアは 2004 年ベトナムに進出し、現在 140 店舗があり、2016 年には 200 店舗を目標にしています。同社はハンバーガー市場で 60~70% のシェアを占めています。

KFC は 1997 年にベトナム進出、最初の 7 年間は赤字でしたが、現在ではベトナムにおけるファ

ホーチミン ビジネスサポーター レ・ティ・タン・ビン

ストフードのトップブランドになりました。フライドチキンが強く支持され、現在 125 店舗を展開しており、2015 年には 200 店舗展開の計画です。

フィリピンのジョリビーは 30 店舗に拡大しており、ほかにもサブウェイなどが進出していますが、2012 年 8 月にベトナム訪問したマクドナルド代表者は、これからフランチャイズ形式でベトナム進出し、ホーチミン、ハノイと展開して将来的には 100 店舗を目指すと発表しました。マクドナルドの進出により、現在の KFC、ロッテリア、BBQ チキン（韓国）が占めている市場シェアが大きく変わるものと思われます。

ベトナムには、フォーやソイ（もち米のおこわ）など、早いサービスで提供する料理もたくさんあり、有名なお店としては Pho24 がありますが、世界のメジャーと比べるとまったく競争にはなりません。また本格的なファーストフードと言えるほどのものでもありません。

ほとんどのベトナム人がベトナム伝統料理を好ん

で食べますが、2010年に Neisel Vietnam が行った調査では、回答したベトナム人の 42%がファーストフードを食べると答えています。そのうち 86%が 20~35 歳の若い世代でした。



ベトナムにおけるファーストフード市場の売り上げは、2009 年で 5,000 億ベトナムドン、2010 年 8,690 億ドン、2011 年は 8,700 億ドンとなっています。ベトナムのファーストフード産業には、まだ大きな潜在力があると言われています。

(1,000 億ドン=約 4 億 270 万円/12 月 18 日レート)
今後は、特徴をいかした個性的な品揃えでブランドネームを確立できるような、ベトナム独自のファーストフードの展開を期待します。

低賃金労働時代の終わり

インドネシア経済は、2013 年も前年に引き続き GDP 成長率 6%台を達成する見込みです。しかし同時に、工業団地で労働争議が頻発し、最低賃金が大幅に引き上げられています。中進国へ向かうインドネシアにとって避けて通れない関門ではありますが、企業にとっては頭の痛い問題です。

労働争議の主な要求は派遣労働の禁止、最低賃金の引き上げ、労働者健康保険の雇用者による負担、などです。このうち、派遣労働については警備、清掃、食事提供、運転手、石油ガス労働者の 5 業種に限定することが決められた一方で、事業プロセスをコア部分と非コア部分を分け、他企業への事業委託を非コア部分のみに限ることになりました。最低賃金は、就業 1 年未満の独身者が最低限必要とする賃金ですが、首都ジャカルタやその周辺では 2013 年分が 200 万ルピア (約 1.7 万円) と前年比 40% 以上の大幅増となり、消費者物価上昇率 (5% 未満) を大きく上回りました。労働者側は、過去 10 年間、実質賃金が上昇していないことを根拠としています。

重慶市の経済

昨今、中国の経済成長率も減速しつつある中で、重慶市は安定的に経済成長を続けているといえます。四川省から分離し、直轄市^{*}として発足した 1997 年から 15 年間の GDP は年平均 12.2% の伸び率であり、2012 年前半の重慶地域の総生産額は 5,307 億元 (約 7.2 兆円) に達し、前年同期比 14.0% 増、伸び率は全国 31 の省 (民族自治区、直轄市を含む) の中で第 2 位となっております。(因みに、四川省は 13.0% 増。伸び率第 1 位は天津市の 14.1% 増。)

ジャカルタ ビジネスサポーター 松井 和久
さらに、労働者向け健康保険の保険料を給料天引きではなく、雇用者が支払うことを労働組合は求めています。

2012 年の労働争議では、大勢の労働組合員が押しかけて工場内に立ち入り、働いている労働者を強制的に職場放棄させたり、企業幹部を建物内に監禁して派遣労働禁止を強要したり、何千人もの規模で高速道路を封鎖する、といった目に余る示威行動が起きました。企業側は事業遂行上の安全を保証するよう、政府・治安当局へ強く要求しました。

しかし政府は、2014 年大統領選挙を控えて、労働者寄りの姿勢を鮮明にしています。ユドヨノ大統領は「低賃金労働の時代は終わった」と発言しました。従来、政府は雇用機会拡大のため、企業に可能な限りの雇用を求めてきましたが、企業側は人員削減や機械化で対応せざるを得なくなってきました。当然、低コストを求めて進出する日系企業にも、同様の対応が求められることになるでしょう。

重慶 ビジネスサポーター 吉川 孝子

最低の伸び率は、北京市と上海市の 7.2% 増。)

一人当たり GDP は四川省の省都である成都市に及ばないものの、水道光熱費、通信費、交通費、家賃などの生活コストは成都市より安く、可処分所得や消費支出のデーターから、市民の消費意欲は成都の市民に劣らないものと思われます。重慶市民の衣、食、住及び子供の教育にかかる費用は、年々高い比率で伸びを示し、当方で実施したアンケート調査を見ますと、「ある程度お金をかけても子供にしてあげ

主要製品の100世帯ごとの普及数

| (単位:台) | 重慶 | 成都 |
|---------|-------|-------|
| オートバイ | 10.8 | 3.7 |
| 乗用車 | 10.4 | 28.2 |
| 洗濯機 | 97.8 | 99.3 |
| 冷蔵庫 | 101.9 | 99.8 |
| カラーテレビ | 149.1 | 144.8 |
| 家庭用パソコン | 76.1 | 86.6 |
| カメラ | 34.2 | 56.6 |
| エアコン | 164.3 | 133.7 |
| 携帯電話 | 207.1 | 222.6 |

「2012年重慶統計年鑑」による

「たい教育は？」の設問への回答は、1位は外国語、2位が音楽、ピアノ、スイミングなどの情操教育、また同率2位に学習塾が入っており、「都市と農村の一体的発展に向けた総合改革試験区」政策や「家電下郷」政策によって豊かになった今日、可処分所得の消費傾向も変化してまいりました。

今後ますます、内資外資共、チャイルドビジネスに参入してくるものと思われまます。どのようなことでもビジネスに展開させていくのが上手い国民性ですので、一人っ子政策が緩和されたものの夫婦が高

※ 最上位の広域行政区画（省）に属さず、それらと同格に位置づけられる行政区画で、中央政府の管轄を直接受ける市である。現在、北京市、上海市、重慶市、天津市の4市がある。

国王85歳のお誕生日

12月5日は国王の85歳のお誕生日、国を挙げての盛大な式典となりました。

タイでは生まれた曜日ごとに色が決まっており、国王がお生まれになったのが月曜日＝黄色で、黄色の布地が市場から無くなる珍現象が起きました。即ち、5日は皆が黄色のシャツを着用して王宮前に集まって来たのです。その数は定かではありませんが、テレビ報道を見る限り、20万人規模とも思われる大群衆でした。それが全員皆、黄色を着用、テレビ中継によるものでしたが、それは壮観な眺めであります。

入院生活を余儀なくされていた国王ではありませんでしたが、この日は病院をお出になり、沿道の大観衆に迎えられ、GRAND PALACE（王宮）にお越しとなりました。

このGRAND PALACEより国民に話し掛けられるのは2006年6月の即位60周年記念行事以来の事になりました。

この時は、王妃様共々起立され、日本の天皇、皇后両陛下をお迎えになったご様子が今でも目に浮か

ぶれている状況を反映して、病院経営に富裕層家庭向けの「(人工授精+)代理母」ビジネスが認められ、このシステムの利用が徐々に広まっております。知人の中には、妊婦さん(代理母)、家政婦、諸経費など総費用である約30万円(約4百万円)を既に支払い、2人目の子供が生まれてくるのを首を長くして待っている40代の夫婦がおります。「一人っ子政策」の副産物とも言うべきビジネスでしょうか？

一人当たりの平均可処分所得と消費支出

| | 重慶 | 成都 | |
|------------|---------|--------|------|
| 可処分所得 (元) | 20,250 | 23,932 | |
| 前年比伸び率 (%) | 15.5 | 10.3 | |
| 消費支出 (元) | 14,974 | 17,795 | |
| 内訳 (%) | 衣類 | 13.7 | 9.2 |
| | 食料 | 39.1 | 37.0 |
| | 住居 | 8.1 | 9.1 |
| | 家具・家事用品 | 7.2 | 7.3 |
| | 保健医療 | 7.0 | 5.2 |
| | 交通・通信 | 11.5 | 16.6 |
| | 教育文化娯楽 | 9.8 | 11.6 |
| | その他 | 3.6 | 4.0 |

「2012年重慶統計年鑑」による

バンコク ビジネスサポーター 富永 勇三

びますが、残念ながら、今回は車椅子でのご来場となり、また、体調不良の由で王妃様の姿がお側に無かった事が大変残念に感じられました。

2階のロビーにお姿をお出しになった国王に対し、まずは皇太子殿下、続いてインラック首相他が緊張の面持ちで祝辞を述べられました。

インラック首相は、今日のタイ国の隆盛が成し遂げられたのは、一重に過去における国王の偉大なる尽力の賜物であると謝辞を述べられました。

お元気な頃は原稿も見ず、1時間以上に亘って国民にテレビを通じ、語り掛けられた国王ですが、残念ながら今回は10分程度の短いものとなりました。

「私は、絶えず皆さんが同情の気持ちを忘れず、他人を思いやる気持ちを持ち続けられ、国民全員が一心同体と成り得るものと確信している。もし国民がこの感情を持ち続けられ、この国は安全であり、また如何なる難題が降りかかっても、この国は安泰であろう。」と述べられ、暗に二派に分かれて争っている現状を憂慮され、お互いの言い分を良く聞き、協調体制を構築せねば、国の将来に不安が過ぎり、

国の安泰が保てなくなると、お諭しになったものと感じました。

今年も国を挙げて、国王のご長寿をお祈りする一

大連—ハルピン新幹線開通

12月1日、大連—ハルピン間新幹線がやっと開通されました。大連から瀋陽まで6:46から19:55まで40便が毎日運行され、冬季は2時間半で着き、夏になると1時間20分で着きます。切符は一等席が200元とやや高いですが、二等席なら120元でより安くなります。大連から長春までは4時間ちょっとで、ハルピンまでは5時間半弱で着きます。これで、東北三省の省都とその周辺に日帰りできるようになり、本当の東北三省一体化が実現されました。

大連—瀋陽間を例にすると、今までは列車で4時間以上(5時間になるケースも多かった)、しかも朝8時、午後1時、夜5時半の3便しかなく、高速バスも4時間かかり、一度、瀋陽から大連へ戻ろうとしてバス乗り場に駆けつけたら、2時間後のバス



しか席がなかったことがあります。このようにバスはよく満席状態でした。この新幹線が開通した

ら、まず高速バスに乗る人はいなくなるのではない

2012年ベトナム投資環境

中国との領土問題に連動した反日活動により、日本企業の脱中国あるいは将来的な縮小を視野に入れた、新たな拠点作りへの動きが活発化しています。多くの方々が視察にお見えになりますが、特に長年中国のレンタル工場を利用し、工場運営をしてきた日本人経営者の方々からは、ベトナムの工場賃料金は高いとの声をよく聞きます。実際にベトナム不動産事業を含むサービス事業全体において、比較的サービス料金が高いと言われています。

ご存知のようにベトナムの貸出金利は周辺国に比べて非常に高いものであり、昨年は23%近くまで

日となりました。来年は過去のように、もっと長時間、国王の国を思うお気持ちのスピーチをお聞きしたいものと願っています。

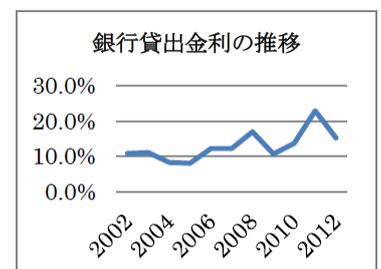
大連 ビジネスサポーター 劉 瑛

でしょうか。高速バスの料金を100元から80元に下げましたが、乗車率は半分に達していない状態です。ある友人は瀋陽でビジネスをしていて、最近、新幹線の開通で早速大連へも拠点を持つようにしました。何にせよ、朝瀋陽から出発すれば、大連で仕事を済ませて、夕食は瀋陽の自宅でできます。10分~30分に1便発車し、乗り心地もよくて、とても快適と感激しています。何かあればすぐ来られて、「大連周辺からの通勤よりも便利」と冗談で言っていました。切符代を考えない限り、そう言えるかもしれませんね。少なくともラッシュで遅れることはないでしょう。

経済はもちろんこれで東北三省がつながり、観光などもかなりこれで繁盛するのではないかと思います。5月の春から10月の秋まで大連への観光客が増えるのは言うまでもないですが、冬に朝大連を出発して、昼前に長春に着き、「八大部」と称される旧満州時代の建物がそのまま使われている大通りを観光、儀故宮、ロシア風建物を見学して、翌日の午後ハルピンに移動し、夜は雪祭りを楽しんで、3日目はロシア街などで散策、買い物して、午後2時の便で大連へ戻るような2泊3日の観光も、とても楽しく魅力的に見えることでしょう。

ハノイ ビジネスサポーター 中川 良一

上昇していました。本年は政府政策により、金利は低下しましたが、やはり平均15%を超える高金利になっており、このため不動産投資では高金利等が影響し、レンタル料等各種サービス料金が、周辺各国より高い金額になっています。そのため一般的には、海外より資金を調達し、自社にて工場を建築、運営される企業が大多数を占めていますが、最近では、日本の中小企



業をターゲットとした、低価格レンタル工場も徐々に増え始め、日本からの投資家の選択肢も広がってきています。日本からの投資は2012年11月末段階で、外国投資全体の41.5%を占め、その投資額は50億5100万米ドルとなり、第二位のシンガポール15億5400万米ドルと大きく差をつけています。しかし一方で、総投資額が500万ドル以下の中小企業による投資も増加傾向にあります。

**2012年ハナム省ドンバン2工業団地に進出した
日本企業の投資規模**

| | 事業内容 | 資本金 | 登録総投資額 |
|---|-------------|---------------|---------------|
| 1 | 家電用部品 | 880,000 USD | 3,220,000 USD |
| 2 | 工場用紙製品と手工芸品 | 775,000 USD | 2,408,000 USD |
| 3 | 自動車部品 | 1,200,000 USD | 1,950,000 USD |
| 4 | 倉庫業 | 1,500,000 USD | 3,000,000 USD |
| 5 | 家庭用プラスチック製品 | 875,000 USD | 2,500,000 USD |
| 6 | 自動車部品 | 219,996,700 円 | 385,000,000 円 |
| 7 | 自動車部品 | 6,300,000 USD | 9,500,000 USD |
| 8 | 自動車部品 | 4,000,000 USD | 6,982,282 USD |

例えば、ハノイ近郊ハナム省ドンバン2工業団地では2012年1月より、日系新規投資案件の多くが登録総投資額500万ドル以下の案件でありました。

ベトナムは、周辺国と比較しまだまだ人件費も安

台湾人の習慣

先週日本から、台湾で会社をつくりたいと言う方が相談に来られ、数時間台湾について語り合いましたが、その方が次の様な話をされました。「私は地下鉄に乗ったのですが、仕事が終わってからの時間帯でしたが優先席が空いているのですね。私は年齢的にも65歳を超えているので、座らせていただきましたが、何となく嬉しかったですね。台湾の方はマナーが良いですね。」また続けて話されました。「前回来たのは夏だったのですが、知り合いが入院していると聞いたもので、お見舞いに果物でもお持ちしようと思って、台湾の方に相談したら、『パイナップルやバナナ、梨は持って行かない方が良いですよ。』と言われたので他のものにしました。台湾には随分日本と違う習慣があるのですね」と言うことでした。

日本から台湾に来てビジネスをされる方が大勢おられますが、台湾人と一緒に仕事をする場合、台湾人の生活上或いは社会上の習慣を知っておくことは大変有益です。

知らないで恥をかくこともありますので、限られ

く、人口も多いため、製造拠点としての魅力はまだしばらく続くものと思われます。例えばナイキシューズの生産数量の推移を見ていくと、世界の工場中国において2001年40%製造されていた製品が、現在は32%まで下がり、逆にベトナムでは2001年13%であった数量が、現在は41%と急激に伸びており、今後さらに増加することが見込まれているそうです。

**ナイキブランドシューズの製造数量比較 2001年～
(経済新聞)**

| 年 | ベトナム | 中国 | タイ | インドネシア |
|------|------|-----|-----|--------|
| 2001 | 13% | 40% | 13% | 31% |
| 2005 | 26% | 36% | 15% | 22% |
| 2009 | 36% | 36% | 6% | 22% |
| 2010 | 37% | 34% | 2% | 23% |
| 2012 | 41% | 32% | --- | --- |

ベトナムでは、2013年も日本企業により投資がトップになることが期待されており、また特に中小企業進出が増加すると見込まれています。

台北 ビジネスサポーター 皆川 榮治

た紙面ですが、日本とは異なる特徴的な習慣をいくつかご紹介します。

1. 旧暦に関する習慣

- (1)大晦日 1年の収穫を祝って故郷へ帰り家族と団欒する。家の前には「春聯」と言う赤い紙にお目出度い事柄を書いた文字を門口の左右と上に貼り付けて飾る
- (2)お正月第2日 お嫁さんは家族と共に実家に里帰りする
- (3)同第3日 朝はゆっくり起床、夜は早く寝る
- (4)旧暦の7月(鬼月と言う) 新暦の8月ころに当たるが、この1ヶ月間はさ迷っている死霊が地上を徘徊するので、吉事(結婚式や財産の購入)は避ける
- (5)中元節 旧暦7月の中日(15日)。死霊を慰めご馳走を振舞う。お下がり家族でいただき共に食事をする。名前は中元でも日本の中元とは随分違う
- (6)中秋節 旧暦8月15日で中秋の名月。名月を愛でるのは日本も同じだが、家族や友人同志で

バーベキューを食べる(但しこれは 20 数年くらい前に始まった新しい習慣。業者が仕掛けたと言われる)。ススキも月見団子もありません

2. 食事時の習慣

- (1) 麺やスープを食べる時はすすって音をたててはいけない
- (2) 乾杯は相手と眼を合わせて飲み干し、干したあとその人の顔を見てもう一度会釈を交わす
- (3) 主賓が箸をつけるまで他の人は料理に手をつけない。終わって席を立つときも同じ
- (4) テーブルの上に左肘や前腕をついて食事するのは行儀が悪い
- (5) 素食(肉食のない野菜のみの精進料理)だけの人が結構多い(仏教や農業の関係)
- (6) 仲間同志で食事をする、その中の 1 人が支払い割り勘はない。順に誰かが負担している

3. 一般生活上の習慣

- (1) 白や黒は葬式の色。結婚式に黒のスーツ(礼服)と白のネクタイは禁物
- (2) 赤は目出度い色。式典などに赤い紙に金色の文字で標題を掲示することが多い
- (3) 父母やお年寄りを大事にする人が多く、若い人

でもお年寄りの手を引いて歩くのを見かけることが多い

- (4) 人間関係作りを重視する。食事会などで知り合ったら翌日事務所に尋ねて来ることがある
- (5) 贈り物に傘や扇子(どちらも「散」と同じ発音と)、ハンカチ(涙を連想する)、置時計(中国語で「鐘」と言い発音が「終」と同じ)は禁止。いずれも不吉なことを連想させるので嫌う
- (6) 病気お見舞い時にパイナップルやバナナ、梨は避ける。(パイナップルは台湾語の発音「オンライ」が「だんだん強くなる」の意で、病気が昂進する、に繋がる。バナナは漢方では傷口に悪いと言われる。梨は発音が「離」と同じで不吉)
- (7) 冒険心に富み、失敗しても次の方向に転換するのが早い(海を越えて大陸から渡って来た気概か?)
- (8) 目上の人に対して物や資料を提供する時は必ず両手で手渡す
- (9) 寅年の人は強勢で、結婚式に出ることを避けられることがある。人の幸運を取ってしまうほど運が強いので遠慮してもらうことがある
日本とは良く似たものもありますが、随分異なる習慣もあります。どうぞご参考になさってください。

ハッピーからのお知らせ

ぜひ多数ご来場ください!!

ビジネスフェア中四国 2013

「中四国発・こだわり良品発掘メッセ」開催のご案内

- 開催日 平成 25 年(2013 年) 2 月 1 日(金)~2 日(土)
- 会場 広島市中小企業会館総合展示館(広島市西区商工センター一丁目 14 番 1 号)
- 出展者数 158 社・団体
- 事業内容
 - ◆商談会: 2 月 1 日(金)、2 月 2 日(土)
(1 日(金)は商談会のみ。2 日(土)は一般公開します。)
 - ◆展示販売会: 2 月 2 日(土)のみ。一般消費者もご来場できます。
- 入場料 無料
- 問い合わせ先 ビジネスフェア中四国実行委員会事務局
(広島市経済観光局産業振興部商業振興課内)
電話 082-504-2236

詳しくは同封のご案内をご覧ください。

セミナーご案内

「今すぐできる在中國緊急時の SNS(ソーシャルネットワーク)情報収集術」

・・・北京在住日本人の体験から考えるリスク回避方法・・・

- 日時 平成 25 年 1 月 24 日(木) 14:00~16:00
- 会場 広島県情報プラザ 2 階 第 2 研修室(広島市中区千田町 3-7-47)
- 講師 米村美樹子 氏(オフィス・ジェイド代表 人材研修トレーナー)
- 主催等 (公財)ひろしま産業振興機構、(独)日本貿易振興機構広島貿易情報センター

参加費無料

詳しくは同封のご案内をご覧ください。

【シリーズ～中国で飲食店出店 vol.2】

＜回答者 公益財団法人ひろしま産業振興機構 上海事務所＞

Q

当社は、日本で和風レストランを展開しております。この度事業拡大に伴って海外出店することになり、出店地第一候補として上海が挙がりました。開業準備から店舗運営にいたるまで、日本のやり方が通用しないと聞いておりますが、具体的にはどのような手続きを踏んで開業に至るのでしょうか。

A

前回の【シリーズ～中国で飲食店出店 vol.1】において、中国で飲食店を出店するには、(1)店舗の準備、(2)会社設立、(3)開業準備の3項目をほぼ同時進行で進めていく、と説明いたしました。

今回からは各項目の留意点を細かく見ていきたいと思っております。

(1) 店舗の準備

① 立地選定

A) 市場調査

上海で飲食店を開業するにあたり、一番重要なのは、店舗の『立地条件』です。その地域毎に飲食店の様相も大きく変わってくる上海では、ホワイトカラーが集まるオフィスエリアや、地元住民で賑わうローカルエリア、観光客が集まるエリア、日本人や欧米人が多く住むエリア、等様々なエリアが点在しています。そこで、まずは店舗のコンセプトに合った客層のターゲットを絞り込みます。そのターゲットが多く集まるエリアの「繁盛店」を数店舗絞り込んで、具体的な店舗の強みや概況（メニューや価格）、スタッフのサービス、そして経営状況などを専門の業者を通じて調査することをお勧めします。

B) 物件選定

出店エリアが絞れたら、その地域を担当する不動産業者から物件を紹介してもらいます。不動産業者の選定基準は、**飲食物件対応経験があること**。日系不動産業者や、日本人向けフリーペーパー内のクラシファイド（三行広告／個人広告）などで情報収集する方法もあります。

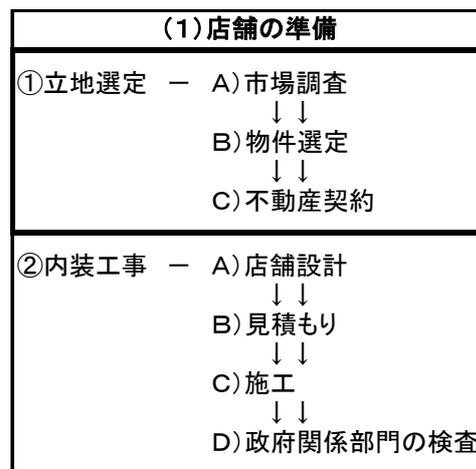
また、中国では、当局が規定している環境や様々な認可基準が厳しく、飲食店が開業できるエリアや物件に限られます。したがって、選定候補の物件が、飲食店として登記できるのかを確認することが重要です。

ガスと火器を使用して調理を行う本格的なレストランを経営する場合は、住宅地の中だと開業の許可が下りないこともあり、とくに物件の選定には注意を要します。現有飲食店物件の譲渡を受ける場合以外は、不動産業者からの情報だけに頼らず、自社で関係行政に出向き、確認する必要があります。

C) 不動産契約

不動産契約で大切なのは、『**決断のスピード**』です。好立地の空き物件が見つかったら、すぐに押さしてしまう心構えがないと、瞬く間に他の業者にとられてしまいます。また、物件の家賃や保証金だけ支払えば、賃借出来るのかと言えば、そうではなく、前オーナーから物件を譲ってもらうために「譲渡費用」を請求されるのが一般的で、その金額もかなり高額な場合があります。家賃と同じく、この「譲渡費用」も粘り強く交渉し、できるだけ契約書の内容は詳細に規定しておく必要があります。

本質問には、上海市での手続きを例に回答しております。各手順に関しては、中国の各地方政府により異なる場合がございますので、詳細は、専門家もしくは広島上海事務所までお問い合わせください。



国際ビジネス支援センター事業に関するアンケート結果

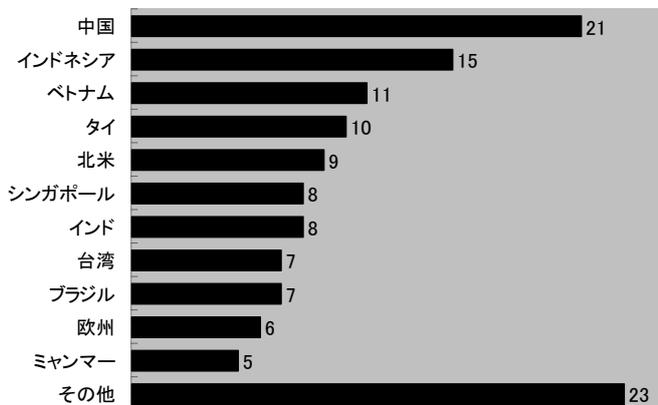
結果まとめ

- 実施時期：平成 24 年 10 月
- 実施対象：
 - 国際賛助会員企業・組合 224 社
- 回答数：66 社
- 回答率：29.5%

☆主なアンケート結果☆

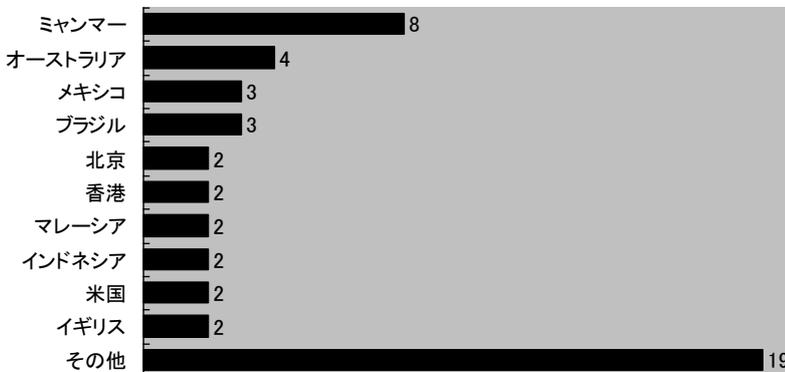
- ・企業の関心のある国・地域として、昨年に続き中国・インドネシア・タイ・ベトナムがあがっているが、昨年と比べ、中国への関心の集中が他国へ分散している傾向にある。
- ・市場規模・動向、流通事情、労働力事情など、ビジネス展開に必要な情報とともに、法律・制度など専門性の高い情報が求められている。
- ・企業によって関心分野が多種多様であり、専門性の高い具体的な情報が求められていることが伺える。
- ・海外事務所・海外ビジネスサポーターへの期待度は大きく、貿易・海外投資に関する個別相談の必要性も高い。

★現在関心の高い国・地域はどこで、どんな点ですか？



- ・昨年同様、上位は中国（昨年 43）インドネシア（昨年 18）ベトナム（昨年 12）タイ（昨年 18）となっている。
- ・関心のある事項の順位は、
 - ①市場規模・動向
 - ②流通事情
 - ③労働力事情
 - ④税制・法律
 - ⑤インフラ整備状況
 - ⑥日系企業の進出状況 など

★ビジネスサポーターを、どの地域・都市におくと有用ですか？



その他内訳：
 成都、広州、韓国、フィリピン、ドバイ、カンボジア、カナダ、バングラデシュ、フランス、カナダ、東欧 ほか

★参加したいセミナーの内容は何ですか？



その他内訳：
 安全保障、輸出管理、食品成功事例

貴重なご意見ありがとうございました。
 今後の事業の参考とし企業ニーズにお応えしてまいります。